

地域コミュニティと連携する 子ども支援の成果と課題

～Learning for All × 東京大学の共同調査から見えてきたもの～

2024年3月28日(木)14:00-17:00

参加
無料

東京大学赤門総合研究棟A200番教室

参加申し込みはこちら (※右のQRコードからでも申し込みできます)

URL: <https://forms.gle/usn5tUWcs6Ujgg4N7>

※zoomにて、オンラインでも参加できます。

※参加登録後、当日までにURLをお送りします。

本シンポジウムは公開で行われ、どなたでも参加できます。



NPO法人Learning for All と東京大学大学院教育学研究科は、誰一人取り残さない教育と社会の実現への寄与を目指し、2021年より教育・研究交流連携事業に関する協定を結びました。2023年にはその取組の一貫として、Learning for All が取り組む「地域協働型子ども包括支援」の実態・成果を明らかにするべく共同調査を実施しました。調査は定性調査と定量調査の2種類に大別され、1つはLearning for All の活動拠点である葛飾区における支援者・利用者へのインタビュー調査。1つは、Learning for All 以外に「地域協働型子ども包括支援」の実践に携わる8団体を対象とした子ども・保護者・支援者に対するアンケート調査です。本シンポジウムでは実施した調査の内容・成果を報告するとともに、今後に向けた課題・テーマについてパネルトークにて議論を深めていきます。関心をお持ちいただける皆様の参加をお待ちしています。

プログラム

■開催挨拶

勝野正章(東京大学大学院教育学研究科長)

■調査内容の報告

1. インタビュー調査から見えてきたこと

小野裕太(東京大学大学院教育学研究科 修士課程)

2. アンケート調査から見えたこと

田中祐児(東京大学大学院教育学研究科 博士課程)

別府崇善(東京大学大学院教育学研究科 博士課程)

■本調査結果を踏まえたパネルトーク

本田由紀(東京大学大学院教育学研究科・教授)
大塚類(東京大学大学院教育学研究科・准教授)
李炯植(Learning for All 代表)

■質疑応答